

神社境内で開催！即興の夜

全県かけ唄大会&じんじゃず

即興の歌詞をつけてかけ合う「全県かけ唄大会」と、神社境内でジャズを演奏する「じんじゃず」が、8月23日に六郷地区の熊野神社で行われました。今回のかけ唄大会では1名が初出場し、計8名の唄い手が、物価上昇や今夏の長く続いた日照り、備蓄米など世相を反映した歌詞で唄をかけ合いました。白熱した戦いの末、佐藤正太郎さん（大仙市）が初めての優勝を果たしました。大会の合間に行われた「じんじゃず」では、即興のメロディーが堂々と響き渡り、会場は大いに盛り上がりしました。



▲（左）佐藤正太郎さん



圧巻の三連覇！

第62回秋田県消防操法大会

8月23日に秋田県消防学校で開催された「第62回秋田県消防操法大会・小型ポンプ操法の部」で町消防団第2分団が3年連続で優勝を果たしました。熱気と緊張感に包まれる中、第2分団の選手たちは日頃の練習の成果とチームワークを発揮し、流れるような操法で見事最高得点を記録しました。



笑いで心も体もお元気に！

敬老記念講演会

敬老記念行事が9月15日に町公民館で開催され、落語家の桂三若さんが「笑って笑ってお元気に！」と題して講演を行いました。

桂三若さんは、健康を維持するためのポイントとして「声を出して笑うこと、歩くこと、人の集まる場所に行くこと」と笑いを交えながら話しました。講演の途中では落語も披露され、会場は終始笑い声に包まれていました。

芸術で豊かな心を育む

仙南すこやか園の園児たちが美郷町学友館を訪れました

9月18日、想像力や表現力を育むことを学びの目的とし、仙南すこやか園の園児たちが美郷町学友館を訪れました。園児たちは「野外芸術空間創出事業」により新たに設置された彫刻「夢のかなた」（▶P17）を鑑賞し、学友館ギャラリーでは「照井玲央作品展」を見学しました。園児たちは学芸員へ質問をしたり、思い思いの感想を口にして、芸術を楽しんでいる様子でした。



MISATOPICS

町の話





ご長寿おめでとうございます

本間リヨさんが満100歳に

8月18日に満100歳の誕生日を迎えられた本間リヨさん(御前)のもとを、松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。

本間さんは、19歳で結婚、子ども4人、孫9人、ひ孫7人に恵まれました。

家業である農業に生きがいを感じ、田んぼや畑で一日過ごされることもあったそうです。

現在は施設に入所されており、入所者の方や職員の方とお話をしながら楽しく過ごされているそうです。

長寿の秘訣は、苦手なものであっても、健康のために何でも食べることだそうです。これからもお身体を大切に、元気で過ごしてください。



▲野外芸術空間創出事業「夢のかなた」のお披露目会での松田町長

みなさんは、箱根にある「彫刻の森美術館」に行かれたこと、ありますでしょうか。起伏のある広大な山間地の敷地に、多くの彫刻作品が野外に設置されている美術館です。敷地内にはピカソ作品を屋内に展示した、いわゆる「美術館」もありますが、基本は野外アートです。子供が遊べるアート作品もあり、私が行った時は多くの家族連れで賑わっていました。

さて、美郷町では昨年度より「野外芸術空間創出事業」に取り組んでおります。そのヒントは彫刻の森美術館です。その内容ですが、子育て支援拠点施設を整備している町中央公園エリアに彫刻作品を設置し、癒しや遊びの場として機能している中央公園にさらに芸術的機能を付加しようとするものです。令和10年度末までに計6作品を設置する計画で、作品選考は専門家のご意見を得て行います。そして目的ですが、

COLUMN WINDS

コラム

風

作品と空間と願いと

美郷町長 松田知己

公園空間で過ごす時間の中で知らず知らずのうちに芸術的感性が磨かれること、とりわけ子供たちは彫刻を通じた遊びで忘れ得ぬ記憶に繋がること、その結果磨かれた感性や記憶のちに自身の思慮を深め、行動に繋がるきっかけとなることです。その過程では、「ふるさと美郷」意識が高まることももちろん願っております。

こうした目的や願いを込めた取り組みの第1作目、9月11日に学友館玄関の左側、つまり中央公園の入口周辺に設置しました(▼P17)。みなさんには気軽にご覧いただき、作品に触れてもらいたいと思います。また、みなさんが触れていくことで、もしかして作品に別の命が吹き込まれるかもしれません。頭に触れば賢くなり、目に触れば目が良くなり、腰に触れば腰痛が治る：目指せ、美郷の撫牛(病氣平癒などに効力ありと言われる天満宮の牛)！なんてね。そもそも作品モチーフがカバです。で、欲張りすぎる願いですね(笑)。